

ダイバーシティみえ推進 主な関連取組 ～ともに輝く、多様な社会へ～

違いを知る、伝える

交流

互いの支え合い

みんなができるという発想

多様かつ柔軟なシステム

違った目線、考え方を力とする



一人ひとりが尊重され、誰もが希望を持って、挑戦し、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けて

三重県では「ダイバーシティみえ推進方針」を策定し、さまざまな分野で取組を展開。今後の取組展開を踏まえ、主な取組を紹介します

◆ダイバーシティの考え方の浸透～考え（意識）を変える～ ◆交流・支え合いによる進化～行動を変える～ ◆参画・活躍に向けた変革～仕組みを変える～

(※取組は令和5年度の当初予算ベース、金額は事業費全体、組織名は令和5年度組)

ダイバーシティの考え方の浸透

広げようダイバーシティみえ推進事業

【環境生活部】 2,702千円
「ダイバーシティみえ推進方針」に基づき、県民の皆さんの理解や行動につなげられるよう、ダイバーシティをテーマとしたワークショップを実施します。



人権尊重

人権啓発事業

【環境生活部】 20,534千円
県民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会等の開催やスポーツ組織との連携による啓発等を行うとともに、市町の取組に対する支援を行います。

男女共同参画

女性の就労支援事業

【雇用経済部】 2,847千円
働く意欲のある女性が、希望する形で就労できるよう、一人ひとりのニーズに合わせて再就職やキャリアアップを支援します。

みえの輝く女子プロジェクト事業

【環境生活部】 3,331千円
女性が活躍できる環境整備に向けて、一般事業主行動計画の策定や企業間グループワークを通じた取組の改善を支援します。



障がい者差別解消

障がい者権利擁護推進事業

【子ども・福祉部】 9,083千円
「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」に基づき、障がいを理由とする差別の解消のための相談員の設置や紛争の解決を図るための体制の整備、障がい者に対する理解や合理的配慮の提供等、社会的障壁の除去の重要性などに関する普及啓発などの取組を進めます。

多様な性のあり方への理解促進

性の多様性を認め合う社会推進事業

【環境生活部】 7,982千円
性の多様性に関する県民の皆さんの理解を促進するためのトークイベントの開催や、企業向けの研修を実施します。また、電話・SNSによる相談窓口の運営や、当事者の居場所づくりを目的とした交流会を開催します。

子育て

子どもの育ちの推進事業

【子ども・福祉部】 25,644千円
子ども専用の相談電話の運営や、子ども・子育て家庭を応援する企業・団体が参加する「みえ次世代育成応援ネットワーク」との連携により、県民が主体的に子育て支援活動に関わる機会の創出に取り組みます。また、子どもの権利が尊重される社会の実現に向けて、今後の施策に反映するため、子どもの生活実態や意識に関する調査を行います。

家庭的擁護推進事業

【子ども・福祉部】 118,842千円
家庭から離れても、児童が家庭的な環境で生活できるよう、里親・ファミリーホームへの委託を進めるとともに、包括的な里親養育支援業務を担うフォスタリング機関の整備を推進します。

児童養護施設費

【子ども・福祉部】 320,018千円
施設養育においても家庭的な環境を提供できるよう、児童養護施設等における小規模グループケア化や地域分散化等を推進します。

高齢者の社会参画

高齢者健康・生きがいづくり支援事業

【医療保健部】 17,350千円
高齢者の社会参加活動を促すとともに高齢者の活力を地域に活用するなど、明るい長寿社会づくりを進めるために、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団の派遣、生活支援コーディネーター等の養成等に取り組みます。



障がい者の芸術文化活動

障がい者の持つ県民力を発揮する事業

【子ども・福祉部】 8,679千円
地域における障がい者の多様な活躍の場を広げるため、令和2年度に設置した三重県障がい者芸術文化活動支援センターにおいて、三重県障がい者芸術文化祭など発表機会の創出、アートサポーターによる相談支援、障がい者の芸術文化活動を支える人材育成等に取り組みます。

デジタル活用

みえDXセンター関連事業

【総務部】 8,002千円
DXをけん引する専門家や企業と連携した「みえDXセンター」において相談支援を行います。あわせて、市町等と連携し、高齢者を対象としたスマートフォンの基本操作等の講座を実施します。

多文化共生社会づくり

外国人住民の安全で安心な生活への支援事業

【環境生活部】 39,791千円
外国人住民からの相談にきめ細かく応じられるよう「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」の相談体制を充実させるとともに、弁護士等による専門相談会を開催します。また、災害時に外国人住民への支援が行き届くよう、三重県国際交流財団と連携した多言語支援や、避難所の受入体制整備等に取り組みます。

外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業

【環境生活部】 27,241千円
新型コロナウイルスの感染拡大で再認識された、外国人住民への適切な情報提供の必要性をふまえ、必要な情報を確実に届けることができるよう、引き続き県多言語情報提供ホームページ（MieInfo）による情報提供を行います。また「日本語教育推進計画」に基づき、「生活者」としての外国人の日本語教育を支援する体制づくりを推進します。

多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業

【教育委員会】 34,082千円
外国人児童生徒が安心して学びを継続できるよう、外国人児童生徒巡回相談員の派遣等、学習支援や学校生活への適応指導等の充実を図ります。また、夜間中学等の就学機会確保の在り方を検討していきます。

防災

地域防災力向上支援事業

【防災対策部】 15,828千円
女性や高齢者、外国人など要配慮者の視点もふまえ策定された避難所運営マニュアル等を活用した取組を促進するとともに、地域防災の重要な担い手である自主防災組織の活動活性化の支援などを行い、地域防災力の向上を図ります。

風水害避難対策強化事業

【防災対策部】 593千円
災害リスクの高い区域に立地する社会福祉施設において実効性のある避難対策を進めるため、有識者による調査等を行い、適切な避難実施のモデルケースを構築して全県的に展開します。

スポーツを通じた交流・障がい者スポーツ

地域スポーツイベント開催事業

【地域連携・交通部】 16,088千円
県民の皆さんのスポーツに親しむ機会の充実を図るため、引き続きみえスポーツフェスティバル及び美し国三重市町対抗駅伝を開催します。



障がい者スポーツ推進事業

【子ども・福祉部】 57,567千円
障がい者スポーツを通じて、障がいのある人の自立と社会参加の推進や、県民の障がいへの理解促進を図るため、三重県障がい者スポーツ支援センターを拠点として、障がいのある人もない人もともにスポーツを楽しむ環境づくりを行い、障がい者スポーツの一層の裾野の拡大を進めます。



ユニバーサルデザインのまちづくり

ユニバーサルデザインのまちづくり推進事業

【子ども・福祉部】 2,030千円
ユニバーサルデザイン（UD）のまちづくり推進条例および推進計画に沿って、UDの意識づくりのための学校出前授業やヘルプマークの普及啓発等の取組を進めます。



多様な人材が活躍する魅力ある職場づくり

働き方改革取組発信事業

【雇用経済部】 6,357千円
誰もがいきいきと働くことができる職場環境づくりや柔軟な働き方を実現するため、働き方改革に意欲のある中小企業等を対象に、アドバイザーによる支援等を行います。
外国人材雇用・就労支援事業
【雇用経済部】 8,631千円
外国人材の受入を円滑に行うため、企業における受入体制の整備を促進するためのセミナー等を開催するとともに、外国人求職者等が安心して県内企業に就職することができるよう、県内企業との出会いと就職の機会を提供します。

障がい者のディーセント・ワーク推進事業

【雇用経済部】 1,746千円
働く意欲のある全ての障がい者が自らの能力や適性を生かし、希望に応じて働くことができるよう、短時間雇用（週10時間以上20時間未満雇用）や、複数の企業と就労支援事業所が連携する施設外就労など、障がい者のニーズに応じた多様で柔軟な働き方について県内企業へ普及を促進します。

農林水福連携

農福連携におけるスマート技術環境改善実証事業

2,315千円
農福連携における青果物のスマート流通体制整備事業 3,935千円
林福連携におけるコーディネーター人材の育成・活動支援事業 1,600千円
水福連携におけるコーディネーター人材の育成・活動支援事業 1,600千円
【農林水産部】



農林水産分野への福祉事業所のさらなる参入促進や、農林漁業者とのマッチングの支援体制づくり、指導者の人材育成等に取り組みます。

参画・活躍に向けた教育

特別支援学校就労推進事業

【教育委員会】 6,398千円
企業経験豊かなキャリア教育サポーターを配置し、生徒一人ひとりに応じた業種・業務と必要な支援の方法を企業に提案する形の職場開拓に取り組むとともに、テレワーク支援員を配置し、これまで就職が困難であった生徒について、ICTを活用した在宅就労など新しい働き方や技能に対応した実習先、就職先の開拓や就労支援を進めます。

暮らし(移住)

ええとこやんか三重移住促進事業

【地域連携・交通部】 64,395千円
「ええとこやんか三重 移住相談センター」を中心としたきめ細かな相談対応や、「三重の暮らしやすさ」などの情報発信を市町と連携して行うほか、SNSを活用した情報発信・交流の場をつくり、移住の実現につなげます。

